



学校自慢の団体を紹介

# スワール エール

鹿屋女子高校  
スーパー  
ビジネスクラブ



昨年開催された「第71回鹿児島県高等学校ビジネス計算競技大会」では、団体総合（電卓の部）で優勝するなど優秀な成績を残し、全国大会にも出場しました。

スーパービジネスクラブは商業に関する知識や電卓・そろばん・ワープロ技術の習得に力を入れて活動しています。メンバーは情報ビジネス科の生徒で構成されていて、授業でも行う「簿記」などを先行して学ぶことで、早期の資格取得につなげています。また、1年に2回競技大会も行われるため、6月1日（日）に行われる県大会では優勝し、全国大会への切符を手にするよう日々の練習に励んでいます。



とめぐち ここね  
留口 心寧さん（3年生）  
同クラブの部長を務める。音楽やダンスが好きで、高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」にも出演。次の講演に向けて練習中と語る。

- 公民
- 地理
- 歴史
- 文化
- 文化財
- まちづくり
- 人物
- その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

# 鹿屋街道

第一路「鹿屋市」誕生  
に至るまで



明治22年の町村制の実施に伴い、現在の鹿屋市には鹿屋、花岡、大始良、高隈、始良、西串良、百引、市成の9村が置かれました。その後、大正元年の町村施行で鹿屋村が「鹿屋町」となり、昭和16年には鹿屋町、大始良村、花岡村の3町村が合併し、「鹿屋市」として市制が開始。当初は始良村を含めた4町村で合併の折衝を重ねていましたが、合意に至らず3町村合併となりました。また、昭和30年には高隈村、昭和33年には垂水町の一部地域（根木原・有武）が編入しました。



▲昭和26年、本町に移転新築された二代目市庁舎。朝鮮動乱の影響から資材が不足しており、建物の基礎には松杭が使用されました。

良町」に、昭和22年に始良村が「吾平町」に、昭和31年に百引村と市成村が合併し「輝北町」となり、それぞれ町制が施行されました。

平成14年4月に肝属地区の市町に輝北町を加えた2市10町による「肝属地域市町村合併調査研究会」が発足し、合併後の効果や将来像等についての調査・研究が始まりました。平成16年7月に鹿屋市、輝北町、串良町、吾平町による「大隅中央合併協議会」が設立され、同年11月に第6回協議会までに承認された51の合併協定項目を盛り込んだ「合併協定書」に4市町長が調印を行いました。平成17年1月には県に廃置分合を申請し、3月に国が新「鹿屋市」の設置を告示。そして、平成18年1月に新「鹿屋市」が誕生することになりました。